

6月定例会で議決された平成30年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第1号)	財政調整基金積立金	310万円	292億6,847万 1千円
	国民健康保険事業特別会計繰出金	△545万6千円	
	生活保護システム改修委託料	445万5千円	
	道徳教育研究指定校事業費	20万円	
	キャリアコミュニティプロジェクト事業費	50万円	
	教育文化振興基金積立金	500万円	
	海の学び・生涯学習プロジェクト事業費	29万4千円	
	竹谷運動広場撤去工事費	381万円	
市民体育館耐震・長寿命化等調査事業費	1,468万7千円		
国民健康保険 事業特別会計 (第1号)	財源補正 国民健康保険税 一般会計繰入金 545万6千円 △545万6千円	0	75億6,580 万円
公共用地対策 事業特別会計 (第1号)	一般会計繰出金	310万円	1億4,050 万円
病院事業会計 (第1号)	資本的支出 医療器械備品購入費	7,300万円	12億2,580 万円

反対国保税は、国・県・市が繰り入れを増やして、税額を低く抑え、国保は命を守る制度とすべきである。また、減免手続きにマイナンバーを活用することに賛成できない。

●放課後児童クラブ支援員の基礎資格を拡大
(第39号議案)

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、専門職大学の前期課程を修了した者

及び中卒者で5年以上放課後児童クラブの補助員を経験した者は支援員になれる



陳情

- 最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情書
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 樽松 佐一
審査結果 不採択
- 適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情書
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 樽松 佐一
審査結果 不採択
- すべての労働者に、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情書
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 樽松 佐一
審査結果 不採択
- 住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実に求める意見書の提出を求める陳情書
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 樽松 佐一
審査結果 不採択
- 地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 樽松 佐一
審査結果 不採択
- 沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情書
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 樽松 佐一
審査結果 不採択

ようになります。

●文教委員会での主な質疑
問 どのような人が支援員になっているのか。
答 保育士や幼稚園・小中学校の教諭資格を有する者のほか、高卒者で2年以上放課後児童クラブの補助員を経験した者も支援員になっています。

問 高校を卒業していない補助員は、いるのか。
答 本市には、いません。

●本会議での主な論点
賛成5年の間に実践で多く

のことを学び、その間に各種研修等も受講するとのことなので、支援員の基礎資格を有する資質がある者と考える。

反対市長に認められて支援員になれるのであれば、これまで支援員の基礎要件を担保していた保育士や教諭など有資格者の規定が無意味になってしまう。

●議員定数を定める条例の一部改正を否決
(議員提出第1号議案)

次の一般選挙から、市議会議員の定数を現在の20人から18人に改める条例改正案が議員提案され、賛成少数で否決されました。

●本会議での主な質疑
問 提案理由にある「諸般の情勢」とは何か。
答 人口減少、税収不足の中、議員定数も削減しなければならぬ状況を指しています。

問 議会のチェック機能の強化が求められているが、定数削減はそれに逆行する